オール上郷が初V

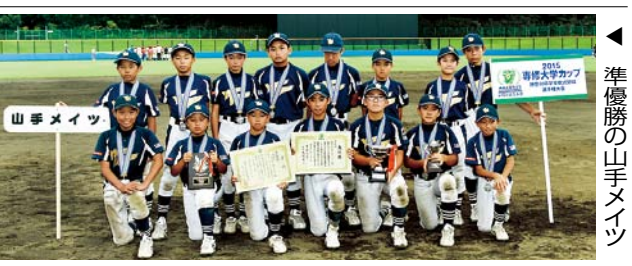
専修大学カップ10代目王者に

▲ 優勝したオール上郷のメンバー

スポーツを通じて神奈川県内の子どもたちの健全育成を支援する「2015専修大学カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会」（神奈川県野球連盟共催）が8月6日から13日まで、境川遊水地公園少年野球場（横浜市）などで開催され、県内各地区の代表60チームが熱戦を繰り広げた。優勝はオール上郷（横浜市栄区代表）で、初の栄冠を勝ち取り、10回記念大会の王者に輝いた。

決勝は各地で記録的猛暑となった13日、平塚球場（平塚市）で行われた。オール上郷と山手メイツ（横浜市中区代表）の決勝は接戦となった。

▲ 馬場経営学部長が優勝旗を授与


◀ 準優勝の山手メイツ

オール上郷が1―2で迎えた6回裏にヒットを重ね、2点を奪い一気に逆転。7回（最終回）表を守り切った。

オール上郷の内藤亮人監督は「最後まで諦めない気持ちで試合に臨んだ。まさか優勝できるとは思っていなかった。本当に選手たちが頑張ってくれた」と喜びを語った。

中西貴大主将も「一戦一戦強い気持ちを持って、全力プレーを心掛けた。厳しく指導してくれた監督、コーチのおかげです。とてもうれしい」と語った。

表彰式・閉会式では、優勝チームに馬場杉夫経営学部長（大会会長代行）から賞状、優勝旗、優勝カップが、神奈川県少年野球連盟会長の鈴木一誠大会副会長から賞状、優勝盾が贈られた。また、横浜DeNAベイスターズの球団職員の畠山準氏から優勝盾、優勝カップが贈られた。

優秀選手賞はオール上郷の松澤和真選手（6年生）が、敢闘賞は山手メイツの羽立湧輝選手（6年生）が選ばれ、県野球連盟から表彰された。

tvkに出演

優勝したオール上郷は8月21日、テレビ神奈川（tvk）昼の地域情報番組「ありがとッ！」に出演し、喜びを語った。

30日19時からは熱戦を振り返る2時間50分の特別番組が放送された。9月末にはダイジェスト映像版を本学ホームページで公開予定。

馬場杉夫経営学部長は8月7日、「tvk NEWSハーバー」で、第10回記念大会の盛り上がりを伝えたほか、本学の地域・社会貢献への取り組みを紹介した。

開会式　8月6日 横浜スタジアム

▶ 激励する矢野学長

▶ 長谷川主将が選手宣誓

出場60チームが、マーチングバンド「ヨコハマロビンズ」の軽快な演奏に乗って元気に入場行進。今村勝也県少年野球連盟学童部理事長の大会宣言、優勝旗返還の後、矢野建一学長（大会会長）が「今年は節目となる10回目の開催になります。専大カップも学童の皆さんの憧れの大会に成長してまいりました。暑い中での試合となりますが、目標に向かって練習の成果を発揮され、思い出深い大会になることを願っています」と激励した。

▲ 黒田投手から応援メッセージが

▶ 全学応援団・専大附属高合同の演舞

鈴木一誠大会副会長のあいさつの後、三浦市代表初声リトルボーイズの長谷川斗洋主将が「僕たちは、大好きな野球を存分に楽しみ、甲子園の高校野球のように粘り強く堂々と戦うことを誓います」と力強く選手宣誓。

本学OBで広島東洋カープの黒田博樹投手からの「みなさんのはつらつとしたげんきいっぱいのプレーをおうえんしています」とのメッセージがスコアボードに映し出された。最後に、本学全学応援団チアリーダー部、専修大学附属高等学校のチアリーディング部合同チーム45人がダイナミックな演舞を披露した。

開会式・閉会式で司会を務めたアナウンサー講座（本学就職部主催）受講生の小林祥郷さん（商2）は「小学生の頃から野球を楽しんできました。今大会での経験は自信につながります」と話した。

▶ 司会の小林さん

熱戦の記録

決勝戦

山手メイツ	0002000	2
オール上郷	001002X	3